

本格的な冬を迎え、積雪量が増えてきた北海道です。

今回、私の暮らしている札幌市東区に札幌景観資産にも指定されている美しい教会があると聞き、行ってきました。『札幌聖ミカエル教会』といい、生垣に囲まれ住宅街の中に存在していました。一見すると近代的な文化施設と間違えそうですが、屋根上には十字架があり、まぎれもなく教会です。

こちらの特徴は、ステンドグラスのように見える正面ガラス。実は幾何学模様で切り出した和紙で装飾されています。この建物は私と同じ年で1960年に建築家アントニオ・レーモンの設計により建築されたそうです。ステンドグラスと違い、和紙を利用した事で建物全体から優しさがにじみ出ていて、見る人を優しい気持ちにしてくれるとの評判で見学者が多数来られているそうです。幼稚園が併設され、通常のミサも行われています。それ以外の時間でしたら自由に見学出来ます。室内から見る壁面の窓ガラスは、光が和紙の幾何学模様を通してより一層美しく感じる事が出来ます。

12月の夜に通りにかかった時は、イルミネーションで彩られていました。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

さて、2月を迎えましたが、暦の上ではもう春ですね。旬の花といえば梅ですが、全国各地でそろそろ咲き始めている頃なのではないでしょうか。また、今年は2月2日に1日早い節分を迎えましたが、これについては124年ぶりだそうです。続いて3日に立春、次に春一番、そして建国記念日。雪から雨に降ってくるものが変わり、そして雪解けも始まり、山からの雪解け水が田畑を潤す季節が2月。また1年が新しく始まるのです。

覚えていますか、1年前の2月3日。横浜港に寄港したダイヤモンドプリンセス号での、船内感染の衝撃からもう1年が経ちました。今月ようやく国内でもワクチンが実用化され始めましたが、終息までにはまだまだ厳しい現実が続いています。特に首都圏の減少速度鈍化は懸念されています。都内の1日の感染者は500人を切るようになりましたが、それでも毎日、感染者数300人、400人との発表が入ってきます。日々新しいものが世の中に出てくる今のこの時代、こんなに時間がかかるとは思ってもいませんでした。とにかく今は今回のワクチンが、安全に1人でも多くの方に一刻も早く接種出来ること、これこそが重要かと思います。1番は安全な予防接種。

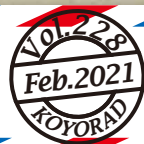
そうなることを願いながら、あらためて今年の始まりとしたいと思います。

東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)



## 世界の拠点から

-From the base in the world-



コロナウイルスの感染が広がっている中、緊急事態宣言が発令され、なかなか落ち着いた生活ができない今日この頃。こんな時だからこそ笑顔で元気に前を向いて、また感染にはくれぐれも気をつけて頑張っていきましょう！

さて話は変わりますが、最近パンを食べることにハマってしまい、休日となれば話題になっているお店に足繁く通う日々です。今回は昨年12月にオープンしたばかりの『食ぱん四二八(よつや)』をご紹介します。取り扱いをしているパンは3品のみです。国産の生クリーム、クローバーはちみつ、九州産の塩などを使った生食パンの『ちくご川』。発酵バターを練りこんだトーストに適した食パンで、トーストするとデニッシュのような食感を楽しめる『みのう連山』。そして今回お目当ての地元で収穫された果実をたっぷり使用している『フルーツサンド』。しかもこのフルーツサンドは専用の食パンを使用しているため、ふんわり柔らかでフルーツと生クリームの相性が最高です。今回はフルーツ2種とチョコレートのサンドを買って帰りましたが、どれも非常に美味しく頂きました。また昨今の高級食パンブームに比べるとお求めやすい価格です。

近くにお立ち寄りの際は、是非一度ご賞味を。おすすめです。



福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は、三重県の長良川河口堰を紹介いたします。長良川河口堰は、三重県の長良川河口部に治水・利水を目的に作られた堰です。この堰ができるまでは、長良川は本州で唯一本流に堰のない川でした。ですので、この河口堰が長良川に初めて造られた堰になります。

元々は工業用水を溜めるために計画されたようですが、計画が30年以上、紆余曲折する間に重工業が、それほど水を必要としなくなってきた経緯もあり、洪水防止に名目を変更して建設が進められてきました。建設にあたっては、利水・治水の観点から建設を希望する声がある一方で、川の生態系や漁業への影響も懸念されていました。最終的には1994年に竣工し、稼働しており、配慮から魚道なども造られています。堰左岸には『アクアプラザながら』という防災資料館があり、河口堰本体が間近に見えるテラスや展望室、デッキもあります。館内では長良川の歴史や河口堰事業が映像・模型などで紹介されています。

災害が起きるたびに話題になりますが、防災開発と環境の両立はなかなか難しい側面がありますね。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

この文章を書いている時は関西も緊急事態宣言が出ており、休日はほとんど外出していない為、昨年宣言前の事を書かせて頂きます。

大阪豊中で美味しいスイーツ店ボンシタニさん。ここは通常のケーキだけでなく、限定の格安ケーキでも有名。なぜ格安かと言うと関西国際向け機内食としてケーキを作っていてカットした残りの端をお弁当用透明パック詰めにして安く販売。見た目は切れ端ですが味は一品！さすが機内食用！と言う感じで超人気商品でした。ただ、昨年はコロナで空港を含めた航空業界も世界各地のロックダウン等々により飛行機が飛ばない、もしくは大幅減便で機内食需要が少なくなってしまうました。

切れ端が無くなれば格安が無くなるのではと思いきや、切れ端でなく長方形カットでパックにぎっしり詰めて販売。機内食需要が無い為、価格そのままでもパックの寸法に合わせて切っている様です。私も屋前にお店に行き、パック販売行列に並びました。レアチーズなどの人気ケーキは既に売り切れ。ラズベリーのムースとクリームのパウンドケーキ詰め合わせを購入。300円のケーキと言っても切れれば4~5人分くらいあるので激安です。糖分を摂り過ぎないように、食べる量と回数はセーブしないといけません。本当に美味しいケーキでオススメです。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

インドネシアでは2月は雨季です。先日、二日間連続で大雨が降りました。それによりジャカルタ、プカシ周辺では洪水に見舞われる地域がありました。浸水高さは30cm~2mほどです。

KJIがあるMM2100工業団地は、工事の際に洪水対策がされていたようです。KJIが設立してから今現在までMM2100の会社で洪水被害があったという話は聞いたことがありません。それに比べてMM2100から車で約30分のジャバベカ工業団地は先日の洪水により周辺の川が氾濫して、たくさんの工場が被害がでたそうです。安全のために電気が切られ、完全に洪水がおさまるまで工場を稼働できない状態です。

洪水は住宅地、工業団地だけでなく、高速道路まで被害がでており、プカシ・チカランあたりからジャカルタ方向の高速道路は通れなくなりました。幸い自分の住んでいるところは標高が高いため、住宅地の浸水は免れました。ですが、残念なことにスーパーマーケットに行く道路が冠水してしまい、週末買い物に行けず、ずっと家にいました。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

~ところ変われば~

「あなたの故郷はどこ?」中国の人たちは会話の中でよく出身地を訪ねます。お互いの故郷について尋ね、土地柄や文化、習慣に関する話題で盛り上がります。日本の面積の25倍もありますので、都会には様々な地方からの人々が集まります。

KHE工場には400名の社員がいますが、地元の蘇州人以外に河南省、安徽省、四川省、山東省などなど出身地は様々です。出張や旅行で遠方へ行くとその土地の文化、方言、習慣さらに料理などに触れる機会があり、楽しいものです。

また中国では地方によって人々の気質・性格も特徴があるようです。『ところ変われば』人柄もいろいろです。首都北京の人は政治に関心が高く、タクシーの運転手さんが政治について意見を聞いてくれることもしばしばあるのだとか。地元蘇州は穏やかな人が多いといわれています。ハルビン、長春など東北の辺りは細かいことは気にせず、男女ともに豪快に振る舞う人が多いそうです。確かにそうかも。亭主関白の夫が多いとも言われます(笑)。

私もお客様や仕入先の業者さんとお酒を酌み交わし、そんな話題に花が咲くことがあります。「名古屋人はどんな人?」と聞かれるとちょっと返答に窮してしまいます。中国の地方文化、その地域の人柄、まだまだこの先楽しい新発見がありそうです。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

2021年が始まりようやくジョー・バイデン氏が第46代米国大統領に就任しました。自身の選挙戦を支持しなかった人々も含め、全ての米国人の大統領になると約束。「米国の人々を一つにし、国を団結していくことに全霊を傾ける」と就任演説で語りました。その当日には早速17本の大統領令に署名し、特に新型コロナウイルス対策の見直し、パリ協定やWHOへの復帰など前政権の政策を覆す行動を起こしています。トランプ前大統領はバイデン大統領の就任式には出席せず、自身の別荘があるフロリダへ向かいました。そのため、いわゆる引継ぎは行われなかった様です。但し最後にバイデン新大統領に宛てた手紙を残したそうです。内容に関して発表はありませんでしたが、バイデン大統領はこの手紙は「寛大」だったとコメントしています。どの様な内容だったのでしょうか?!気になりますが、いつの日かバイデン大統領が公表する時が来ると思います。

当日はデモやテロなどを警戒して州兵などが配備されていましたが、

大きな問題もなくどちらかという平和的に権力移譲が行われました。

さて、アメリカで今大統領の就任以上に話題になっていたのが、ご存知NFLのスーパーボウルです。このイベントは単なるスポーツの枠を超え、アメリカ文化の主要な一部分として国民的に楽しんでいます。視聴率は40%を超えます。今年は史上最高QBとも言われる43歳のトム・ブレイディ率いるパッカニアーズが2年連続出場で連覇を狙うチーフスに勝利しました。

スーパーボウルでは試合以外でも1億人以上が視聴するために-halfタイムショーや30秒で約500万ドルのCMが毎年話題になります。今年はロックダウンの影響で売上げが激減したコカ・コーラやアンハイザー・ブッシュ(ビール会社)などは撤退や広告費をコロナ関連に寄付するなどの発表がありました。

今年は復興に向け試合以外でも盛り上がり期待できそうです。

KCS(アメリカ)(COO:板垣 仁志)

中国の人々は、2月12日(旧正月)から新しく始まった丑年を歓迎しています。牛は勤勉・苦難を象徴しており、コロナは依然として仕事とプライベートで大きな問題となっています。コロナ以前と同じ成果を得るためにはもっと努力する必要がありました。

1日8人以上の来客の禁止など、多くの規制があります。安全を確保するために集まるのは避け、代わりにビデオ通話でやりとりします。また、例年は多くの方がアクセサリーや食材を探すためにチャイナタウンに行っていましたが、今年は大幅に少なくなっています。帰省し旧正月を祝っていたマレーシア人も、今年は帰りません。検疫の費用(シンガポールとマレーシアで1人あたりS\$3,000)と失われた時間が最大の損失で、人々は家族と祝う機会を失ったとしても、戻らないと決めました。

今年の旧正月は大きく異なりますが、健康である限り、将来的にはもっと胸躍る旧正月を祝うことができます。安全を保つために自分たちの役割を果たしましょう。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

昨年、海外出張後コロナに感染したビジネスマンを今でもよく覚えています。当初、他愛もないように見えたコロナは、オランダで14,169人が死亡し、日常生活を根本的に変化させ、もう1年近く経ちました。生活は、すべてコロナと戦うために制限されてきました。現在の政府の懸念事項は、予想される第3波と、ワクチン供給の不足です。感染力の強いイギリスの変異種について懸念があります。他の変異種(南アフリカ、ブラジルなど)も発見されており、詳細はまだ調査中です。現在、感染や新しい変異種の拡散を遅らせる必要があります。病院がコロナ患者の病室を確保できるように、可能な限り他のケアは継続されます。

最終対策の一つとして午後9時から午前4時半までの外出禁止が、1/23~2/10までオランダ全土で適用されました。必要な場合のみ外出することができます。それは人や動物に緊急医療が必要な場合、仕事に出かける、犬の散歩などです。正当な理由なしに外出した場合、95ユーロの罰金が科せられます。夜間外出禁止令が発令されてから、3日続けて私たちは若者のひどい違反行為を目にしました。夜間外出禁止令に真剣に抗議している人の意義は、暴動と略奪と破壊によって薄れてしまいました。感染者数は多少減少しましたが、イギリス変異種は拡大を続け、現在は全体の3分の2を占めています。政府は、昨年12月に発令したロックダウンを3/2まで延長しています。

小学校、デイケアは再開されています。小売店についてはいくつか緩和されましたが、まだ営業は許可されておらず、電話またはWebショップで注文した商品を受け取るだけです。状況に応じて検討が続けられています。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)